
札幌市水道施設整備事業評価委員会

審議結果

1. 委員：大橋 俊忠 北海道経済連合会 理事・事務局長
今野 喜文 北海学園大学経営学部 教授
林 信子 市民委員(札幌市営企業調査審議会水道部会)
星原 智江 公益社団法人札幌消費者協会 副会長
松下 拓 北海道大学大学院工学研究院 教授

(敬称略：五十音順)

2. 開催日：令和7年1月15日（水曜日）

3. 委員会の意見

対応方針に関する意見

- ・委員会の意見として、豊平川水道水源水質保全事業（水道原水水質改善事業）は継続とする。

以 上

署名欄

大橋 俊忠
今野 喜文
林 信子
星原 智江
松下 拓

札幌市水道施設整備事業評価委員会

審議結果

その他の意見及び助言

- ・ 自然湧水によるヒ素のリスクを回避、災害等のリスクへも備えることができ、経済面でも合理性があるため、継続が妥当と考える。
- ・ これまでコスト、安全性を大前提として、品質や自然環境への配慮、災害リスクなど様々な点に配慮して事業を進めており、継続が妥当と考える。
- ・ 最近の物価やエネルギーコスト上昇のなか、維持管理コストを最大限削減していくため、引き続き新しいテクノロジーの探索に努めてほしい。
- ・ ヒ素は慢性毒性で、皮膚がんなどと因果関係があると言われており、浄水場に入ってくるヒ素濃度をかなり低減できるというのは大きい。1回の濃度というより、長期間摂取して、どうかという話で、そのレベルが大きく下がるというのはすごく大きなベネフィットである。